IICLO フォーラム

デビュー40周年記念

富安陽子と仲間たち

日本を代表する児童文学作家、富安陽子。絵本からヤングアダルト作品まで150冊以上の著書を世に送り出し現在もなお児童文学の書き手として執筆をつづけ、子どもにも大人気です。今回はデビューから40年をふり返り、共に作品を作り上げてきた仲間たちを迎えて、人気シリーズの誕生秘話や苦労談など、子どもの本のリアルをとことん語り合います。



『ここは、ようかいチビッコえんーヒュードロ・タウンのようかいたち』 富安陽子/文　大島妙子/絵　福音館書店　2025年2月 より

日時 2027年1月23日(土)
午後1時～4時

会場 大阪府立中央図書館 ライティホール
東大阪市荒本北1-2-1
近鉄けいはんな線荒本駅 北西400m

対象 子どもの本に関心のある方(中学生以上)

定員 150人(申込先着順)　**参加費** 1,000円

講師
富安陽子(児童文学作家、IICLO理事長)
大島妙子(絵本作家)
宮川健郎(武蔵野大学名誉教授、IICLO理事)
西裕子(福音館書店編集者)　広松健児(偕成社編集者)
松永緑(ポプラ社編集者)　松本徹(元福音館書店編集者)
芳本律子(元理論社編集者)

主 催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団（IICLO）
協 力：大阪府立中央図書館
助 成：子どもゆめ基金助成活動

申込み方法 当財団HPの「参加申込」から、または電話、ファックスでお申し込みください。▶▶

一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL: 06-6744-0581 FAX: 06-6744-0582
http: //www.iiclo.or.jp/ E-mail: office@iiclo.or.jp

講師プロフィール



富安陽子（とみやす ようこ）

『やまんば山のモッコたち』（福音館書店 1986年）でデビューし、『クヌギ林のザワザワ荘』（あかね書房 1990年）により日本児童文学者協会新人賞、小学館文学賞、「小さなスズナ姫」シリーズ（偕成社 1996年）により新美南吉児童文学賞、『空へつづく神話』（偕成社 2000年）により産経児童出版文化賞、『盆まねき』（偕成社 2011年）により野間児童文芸賞と産経児童出版文化賞フジテレビ賞、『さくらの谷』（偕成社 2020年）により講談社絵本賞を受賞。そのほか、『天と地の方程式』（講談社 2015、2016年）『絵物語 古事記』（偕成社 2017年）、『博物館の少女　怪異研究事始め』（偕成社 2021年）などがある。2020年、2026年、2028年の国際アンデルセン賞の日本の作家賞候補に選ばれている。



大島妙子（おおしま たえこ）

出版社での勤務を経て、絵本の創作を始める。1993年、初めての自作絵本『たなかさんちのおひっこし』を出版。富安陽子との作品に、『ドングリ山のやまんばあさん』（理論社 2002年）をはじめとする、「やまんばあさん」シリーズ、「オニのサラリーマン」（福音館書店 2015年）シリーズ、『タヌキの土居くん』（福音館書店 2022年）、『ここは、ようかいチビッコえん－ヒュードロ・タウンのようかいたち』（福音館書店 2025年）がある。



宮川健郎（みやかわ たけお）

児童文学研究者。日本児童文学学会元会長。日本児童文学者協会評議員。著書に『現代児童文学の語るもの』（NHKブックス 1996年）ほか。「戦争がわたしたちを見つめている　戦争文学セレクション」全３巻（汐文社 2025年）、当財団編『ひとりでよめたよ！　幼年文学おすすめブックガイド200』（評論社 2019年）などの編集の仕事もある。

西 裕子（福音館書店）

「オニのサラリーマン」シリーズ、「ヒュードロ・タウンのようかいたち」シリーズの編集を担当。





左 『オニのサラリーマン』 富安陽子／文　大島妙子／絵　福音館書店　2015年10月
右 『ここは、ようかいチビッコえん－ヒュードロ・タウンのようかいたち』 富安陽子／文　大島妙子／絵　福音館書店　2025年2月

広松健児（偕成社）

『クヌギ林のザワザワ荘』『キツネ山の夏休み』（以上あかね書房）、『空へつづく神話』、絵本『さくらの谷』（松成真理子／絵）、「シノダ！」シリーズ、「博物館の少女」シリーズの編集を担当。





左 『クヌギ林のザワザワ荘』 富安陽子／作　安永麻紀／絵　あかね書房　1990年6月
右 『博物館の少女　怪異研究事始め』 富安陽子／著　禅之助／装画　偕成社　2021年12月

松永 緑（ポプラ社）

「内科・オバケ科　ホオズキ医院」シリーズ、「ホオズキくんの事件簿」シリーズの編集を担当。





左 『オバケだって、カゼをひく！』 富安陽子／作　小松良佳／絵　ポプラ社　2006年1月
右 『オバケが見える転校生！』 富安陽子／作　小松良佳／絵　ポプラ社　2018年9月

松本 徹（元福音館書店）

『やまんば山のモッコたち』、「菜の子先生」シリーズ、「菜の子ちゃん」シリーズの編集を担当。





左 『やまんば山のモッコたち』富安陽子／作　降矢奈々／画　福音館書店　1986年12月　新版：2000年11月
右 『菜の子先生がやってきた！　学校ふしぎ案内・つむじ風の一学期』 富安陽子／作　YUJI／画　福音館書店　2003年5月

芳本律子（元理論社）

「やまんばあさん」シリーズ、「妖怪一家九十九さん」シリーズの編集を担当。





左 『ドングリ山のやまんばあさん』 富安陽子／作　大島妙子／絵　理論社　2002年9月
右 『妖怪一家九十九さん』 富安陽子／作　山村浩二／絵　理論社　2012年1月

プログラム

●講演
宮川健郎「富安陽子とはだれか―「現代児童文学」の流れのなかで―」

●対談
大島妙子×富安陽子「絵本ってなんだろう？」　聞き手：西 裕子

●フォーラム
編集者×富安陽子　「シリーズ読みものってなんだろう？」
登壇者：富安陽子、広松健児、松永 緑、松本 徹、芳本律子
司会：土居安子（IICLO）



「やまんばのむすめ まゆのおはなし」シリーズで人気の降矢（ふりや）ななさんのビデオメッセージもあります！

本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起き朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。

本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。

National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金

「体験の風をおこそう」運動®
かわいい子には体験を！
―子どもの頃の体験は人生の基盤―
運動の詳細や各種資料等はこちらから→

全国の体験活動・プログラム・イベントをさがそう
体験活動情報サイト
さがせる　みつかる　つながる